



2023年ゴルフ規則の追加の詳説

2023年10月5日更新

追加の詳説は通常四半期ごと(1月、4月、7月、10月)に更新され、次の更新は2024年1月となります。

2023年10月は追加なし

規則

規則5：

規則5.2：

5.2b/3-ストロークプレーのラウンド前にコース上で練習することに対する罰の適用

規則5.2b はストロークプレーのラウンド前にコース上で練習することが認められない場合を説明している。規則5.2b の罰則は、「コース上で練習すること」の文言には球を転がしたり、表面をこすることによって、ホールのパッティンググリーン面をテストすることも含んでいるので、ストロークを行うことに限定されない。

プレーヤーが1つのパッティンググリーン面をこすった場合、同じグリーン面をこすった回数に関係なく、そのプレーヤーは規則5.2b に1度だけ違反したことになる。(2022年12月追加)

規則8：

規則 8.1：

8.1a/10-プレーヤーは動かさない障害物の動かせる部分を所定の位置に戻すことが認められる

規則8.1a (2)はストロークに影響を及ぼす状態を改善する位置に動かせる障害物を置くことを禁止している。しかしながら、この制限は動かさない障害物の動かせる部分を所定の位置に戻すことには適用されない。

例えば、

- スプリンクラーヘッドが飛び出ている場合、そのスプリンクラーヘッドは所定の位置にないので、そのプレーヤーは球をプレーする前にそのスプリンクラーヘッドを押し下げることができる。
- 排水管の蓋が取り除かれていたり、外されている場合、そのプレーヤーは蓋を所定の位置に戻すことができる。

両方の事例において、そのことでストロークに影響を及ぼす状態を改善したとしても規則8に基づく罰はない。(2023年7月追加)

規則10：

規則10.2：

10.2b/1－アラインメントを援助するための自立式パターの使用は認められない

[注：実施が遅延し、自立式パターの特定の使用に対する適用は2025年1月1日に施行する。更なる情報は詳説10.2b(3)/2参照。] (2022年12月追加)

10.2b(3)/1－プレーヤーがスタンスをとる援助のために球の後ろにクラブヘッドを置くことは認められる

[注：実施が遅延し、自立式パターの特定の使用に対する適用は2025年1月1日に施行する。更なる情報は詳説10.2b(3)/2参照。] (2022年12月追加)

10.2b(3)/2－自立式パターの特定の使用についての実施の遅延

規則10.3b(3)に基づく自立式パターの特定の使用に関する実施の2年の遅延は以下の通り施行する：

- 2025年1月1日まで、プレーヤーは、目標を定めたり、スタンスをとったり、足の位置を決める援助とするために自立式パターを球が止まった箇所の直後やすぐ近くに立たせて使用することができる。
- 2025年1月1日から、規則10.2b(3)は自立式パターに適用し、その前段に規定されている行動はもはや認められない。しかし、プレーヤーは規則に適合する自立式パターをストロークを行うためや、規則で認められている他の行動をとるために使用することはできる。(2022年12月追加)

規則14：

規則14.3：

14.3b(4)/1－規則14.7aに基づく一般の罰が適用となる

規則14.3b(4)の最後の中黒に関連して、プレーヤーが誤りを訂正せずにストロークを行ったことについて一般の罰を受ける場合、その一般の罰は誤所からプレーしたことに対する規則14.7aに基づいて適用となる。

例えば、後方線上の救済を受けているときに、プレーヤーは後方線上から1クラブングスほど横に球をドロップした。その球は、どこに止まったかにかかわらず、たとえ後方線上に止まったとしても誤所にある。規則14.7aに基づく罰を避けるためには、球を再ドロップしなければならない。

ストロークプレーでは、プレーヤーが誤所からプレーした場合、重大な違反となる誤所からプレーしていたのであれば、その誤りを訂正しなければならない。(2023年4月追加)

委員会の措置

ローカルルールひな型 E-13

E-13－プレーヤーはルースインペディメントと定義されない動物を球の近くから取り除くことができる

目的：動物がプレーヤーの球に触れていたり、球の近くにいる場合、そのプレーヤーはその動物が動く

ように働きかけることができ、プレーヤーに動くように働きかけられているときにその動物が球を動かしたときは規則9.6が適用される。

その動物が動かない場合、そのプレーヤーはその動物を取り除いてその球を動かす原因となる罰（規則9.4b）のリスクを負うか、罰ありの救済（規則17.1や規則19.1）を受けるか、あるいはその動物が依然として球に触れていたり、球の近くにいるままでその球をあるがままにプレーするかを選択できる。

このローカルルールはプレーヤーがルースインペディメントと定義されていない動物を規則9.4に基づく罰なしに取り除くことを認める。

ローカルルールひな型 E-13

「プレーヤーは、球に触れていたり、球の近くにいるルースインペディメントと定義されている動物以外の動物を罰なしに取り除くことができ、その取り除きはどのような方法で行ってもよい。

プレーヤーがその動物を取り除いている間にその球が動いた場合：

- 罰はない
- その球を元の箇所にリプレイスしなければならない（分からない場合は推定しなければならない）（規則14.2参照）

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに對する罰：規則14.7に基づく一般の罰。
(2023年7月追加)

」